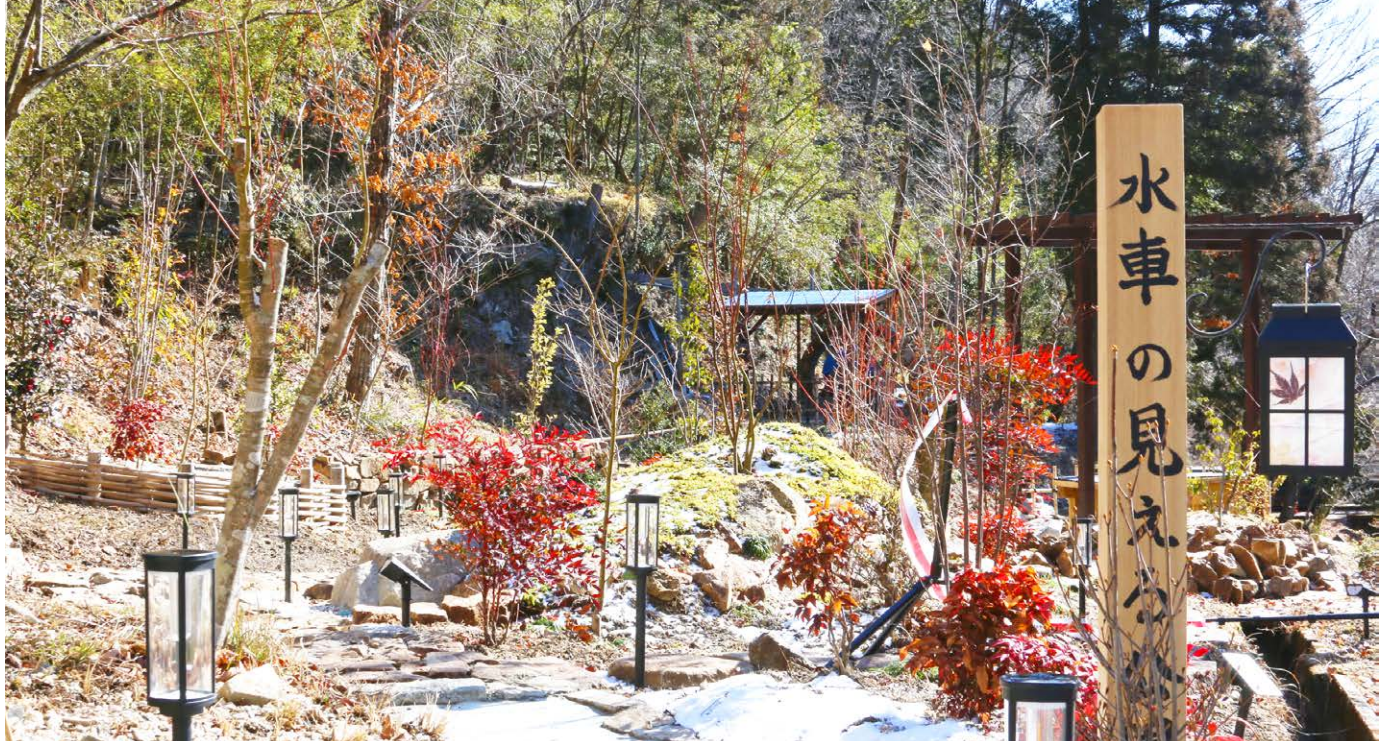


おばらだより



桜バス 予約はこちら
☎ 65-3131



小原地区の わくわく事業

今月の
表紙

「大平 憩いの杜・水車の見える公園」完成

2月23日(日)、「大平 憩いの杜・水車の見える公園」の完成報告 & お披露目会が行われました。この公園は、「地域の魅力を再確認し再生する」という思いのもと、小原地区の2つのわくわく事業団体(チャレンジ大平、小原観光景観発展会)と愛知県立猿投農林高等学校環境デザイン科とが連携し、完成しました。

公園付近では、以前はトヨミル水車がいくつも並び、石粉の加工・生産が行われていました。陶磁器産業の衰退に加え、47災害で多くの工場が流され、今となってはかつての風景はなくなりましたが、1台の水車がチャレンジ大平の皆さんの手によって復元されました。

この公園は、その水車のある眺めを楽しめるように作られています。入口では小原和紙でつくられた灯籠が迎え、公園内は市場城跡をイメージしたレッドストーン(小原産)の石垣や、田代川を模した枯山水が表現されています。

古き良き小原の面影を残す水車と、デザインも素材も小原らしさにこだわった公園、是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

Data

人口	3,184人 (-3)
男性	1,545人 (-1)
女性	1,639人 (-2)
0歳	5人
世帯数	1,477世帯 (+3)

令和7年2月1日現在 ()内前月比

- Pick Up**
- 2 豊田市役所 小原支所
 - 3 令和6年度の主な取り組み

小原地区の **わくわく** 事業活動をご紹介します！

「わくわく事業」とは？

合言葉は「わたしたちの地域は、わたしたちの手でもっと住みよくおもしろく」地域の資源を活用して、「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組んでいる団体の事業を支援する制度です。今年度小原地区では、豊田市で最も多い23の事業が活動を進めています。

ミツマタ黄金郷事業

By やはぎ里山未来プロジェクト



＜事業内容＞ミツマタの植樹活動を通じて、春の観光地・癒し空間の提供を目指す。また、成長したミツマタを素材として活かすことで特産物・労働の場を生む。

やはぎ里山未来プロジェクトは、2018年に発足しました。代表の海老澤さんが未来にどんな里山を残したいかと思い浮かべたとき、イメージにピッタリとはまったのがミツマタ。ミツマタは、春と秋の2度楽しむことができ、香りもよく、獣害対策の効果も期待できるうえ、種子は何十年も眠り続けたのち芽吹くことがあるほど強いのだそうです。そんなミツマタの多様な特性を活かし、ミツマタ黄金郷事業は「里山の黄金郷づくり」と「ミツマタを素材として活かした商品開発」の2本柱で活動を行っています。

●黄金郷づくり(写真・下)： ミツマタは例年3月下旬ごろから見頃を迎えます。本プロジェクトで育ててきた黄金郷は大坂町と李町(松ヶ田)の二か所。伐採から始め、作業用の道をつくり、毎年植樹を続けてきました。李町(松ヶ田)は本城小学校の通学路です。3月下旬から4月にかけて、道の両側、山の中腹辺りをぜひ眺めてみてください。

●商品開発(写真・左)： ミツマタは和紙の原料でもあります。まず手始めに、和紙と柿渋を使った「一閑張」という技法でカゴ、器などを制作しました。記念すべき1作目の手さげカゴは、実際に使って壊れやすい部分を次作で補強していくための研究材料となりました。和紙をベースに様々な素材と工夫で、今後の商品構想も膨らんでいます。

❁ 団体代表より ❁

やはぎ里山未来プロジェクトでは一緒に活動する仲間を募集しています！黄金郷づくり／商品開発(どちらか一方でももちろんOK!)に取り組みたい方はまずは下記まで、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ】代表・海老澤 ☎090-3484-2039

大草子育て支援センターからのお知らせ

★5月のイベント★

5月15日(木) 10:00~11:00
どれだけ大きくなったかな
(身体計測・育児相談) 6カ月～



※豊田市LINE公式アカウントで予約→
※水分補給は各自でお願いします。



【園庭・室内開放】(予約の必要はありません)

平日：午前9時～正午、午後1時～5時

※行事等で室内の利用ができない場合があります。
詳しくはこども園にお問い合わせください。

【問合せ】大草こども園 ☎65-2045

小原福祉センター ふくしの里からのお知らせ

デイサービスふくしの里

日常の様子や体操・レクリエーションの風景を紹介します♡
QRコードを読み取ってフォローしてくださいね！



Instagram
始めました！

掲載内容(画像、文章等)について無断での複製や転載等は厳しく禁じられています。

【問合せ】小原福祉センター ふくしの里
☎65-3350(日曜・祝日・年末年始休館)

小原交流館だより

豊田市小原交流館
小原地区コミュニティ会議事務局
豊田市永太郎町落 681-1
TEL / 0565-65-3711
FAX / 0565-65-1189



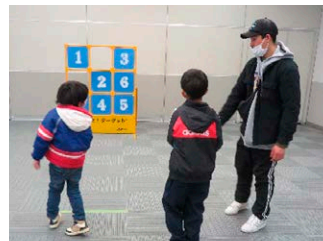
交流館講座報告

みんなのサロン「おばらのまんなか」



R7年度も
計画中♪
遊びに来てね

2月22日(土)に行ったサロンは、おこしものづくり、篠笛・法螺貝の演奏、ペットボトル空気砲、アクセサリ作り、ストラックアウト、輪投げ、飲食ブースなど盛りだくさんでした。どの体験も笑顔が絶えず、楽しい時間を過ごすことができました。



令和7年度 自主グループ紹介

～お問い合わせお待ちしております！～

団体名	活動内容	活動曜日
和紙のふる里太鼓	和太鼓の練習 (ボランティア活動、伝承)	毎週木
小原ガイドボランティア	ガイドボランティアの学習	第1・3土
古文書教室	古文書の読解と歴史の探訪	第2・4火
小原ウィンドアンサンブル	吹奏楽の練習	毎週土
箏雅楽明会	箏の練習	第1・3土
松川流鯉桜会小原教室	日舞の練習	第1・2・4木
小原歌舞伎保存会	歌舞伎の会議	第2木
小原歌舞伎辰巳会	三味線・太夫の伝承	第1～4火
パッチワーク会	パッチワーク	第4水
小原太極拳同好会	太極拳の練習	毎週火
スインフィットネスクラブ	エアロビクス	毎週金
ヨガ同好会	ヨガの練習	第2・4金
元気アップ四季桜	脳トレ・ストレッチ等 高齢者健康づくり	第2・4木
楽文字シュークリームたち	筆文字の学習	第2・4土
和小物	和小物づくり	第3土

令和7年度 交流館講座紹介

New

つながるプロジェクト ～小原和紙の一閑張り～

自分で漉いた和紙で一閑張り作品を作ります。

【日時】5月31日(土)9時30分～15時

【場所】小原和紙のふるさと 和紙工芸体験館
小原交流館

【申込み】4月19日(土)9時30分～

※詳細は4月配布チラシをご覧ください

歌舞伎伝承館事業報告

小原歌舞伎 出前講座開催

末野原交流館にて

2月18日(火)小原歌舞伎保存会による講演と「白浪五人男」の所作体験会が開催されました。参加者は農村歌舞伎の歴史や現在の活動の話に熱心に耳を傾け、また体験会も参加者の熱演に大いに盛り上がりました。



Wi-Fiが使用可能になります！

4月1日(火)から小原交流館内でWi-Fiが使用可能になります。詳細につきましては、交流館の窓口までお問い合わせください。



お知らせ ～図書室より～

『藤岡・小原・旭の中世城館』『小原の古文書1・2』『広報おばら縮小版』の4冊の郷土資料が貸出できるようになりました。是非一度ご覧ください。





5月11日(日) 名鉄トヨタホテル開業30周年を豊田小原和紙と祝う 豊田小原和紙工芸トークセッション.作品展示.販売

小原和紙のふるさとと名鉄トヨタホテルは、地域と密接にかかわりあい、地域に根差した活動などを通して、地域の発展に貢献するという共通の考えをもっています。互いの存在意義を広く知っていただくため、それぞれ事業を行ってきました。このたび名鉄トヨタホテル開業30周年記念事業として、同ホテルとの連携により、ホテル6階で豊田小原和紙工芸作品展示や販売などを行います。

すでに2月から一部の作品展示を始めており、順次拡充していきます。5月11日(日)には、和紙工芸作家や中学生が参加しての「豊田小原和紙工芸スペシャルトークセッション」やワークショップも計画しています。そのほか、小原地区の小・中学生や

愛知少年院の和紙作品展示も予定しています。詳細については、決まり次第お知らせします。

また、昨年から名鉄トヨタホテルで展示中の豊田小原和紙工芸作家共同制作の屏風もご覧いただけます。名鉄トヨタホテルの記念行事とあわせてお楽しみください。



展示作業の様子

6階で展示中の屏風

漆(ウルシ)の苗木を補植しました

小原地区はかつて生漆の産地でした。北陸から漆の樹液を採りにきて、精製したのちに全国の漆器産地に販売していました。豊田小原和紙工芸の祖藤井達吉は、小原の宝がよそに出ていくのは残念でもったいないことだと言い、小原で和紙と漆を使った工芸品づくりを指導しました。そのため、豊田小原和紙工芸には、絵画的な和紙工芸と和紙に漆塗りをほどこした漆芸(しつげい)があります。古くから小原に根差している漆の文化を長く守っていくためには、後継者の育成はもちろんですが、



補植の様子(北大野町地内)

漆の栽培も重要な問題です。和紙のふるさとでは、豊田市森林課とともに平成28年度から漆栽培に取り組んでいます。以前植えた漆が鹿害などにより減ってしまったため、2月6日に補植しました。この木から樹液が採取できるのは約15年後です。この漆の苗木を無事成長させるには、獣害、異常気象、雑草など、越えなければならない大きな山があります。それらに負けず無事に成長するよう見守っていきます。



令和6年度も今月で終わります。1年間ご協力いただきましてありがとうございました。まだまだやりたいことはいっぱいありましたができずに終わりそうです。来年度こそ皆さんとともにワークショップなど一緒できればと思いついています。開催が決まったら和紙ふる通信等でお知らせしますので是非ご参加下さい。よろしくお祈りします。